



模擬試験の受験について (2)

進路通信 (第3号) で、模擬試験には、「一般の記述模試」の他に、各難関大学にターゲットを絞った、「大学冠模試」というものがあり、「大学冠模試」は、出題される問題の難易度が高く、受験する人もハイレベルな学力の集団であることを紹介しました。そして、この「大学冠模試」を受験することによって、自分の志望大学の出題傾向を知り、ハイレベルな学力の受験生の集団の中での自分の位置を知ることができるので、難関大学進学希望者にとっては、重要な模試になることを説明しました。では、具体的には、どの時期に実施されるのでしょうか？

<大手予備校主催の3年次対象 大学冠模試・2015年度版>

(1・2年次生対象の模試は、別表を参照)

受付開始月	実施日	模試名	出題形式	会場	主催予備校	受験料	
5月	7/18日(土)・19日(日)	第1回 東大入試プレ	記述・論述	予備校	代々木ゼミナール	5,200円	
6月	8/8(土)・9(日)	第1回 東大入試実戦模試	記述・論述	予備校	駿台予備校	5,200円	
	8/30(日)	第1回 京大入試実戦模試	記述・論述	予備校			
	8/15(土)・16(日)	第1回 東大即応オープン	記述・論述	予備校	河合塾	5,560円	
	8/9(日)	第1回 京大即応オープン	記述・論述	予備校			
	8/9(日)	第1回 名大入試オープン	記述・論述	予備校			
	8/9(日)	第1回 東北大入試オープン	記述・論述	予備校			
		8/2(日)	第1回 京大入試プレ	記述・論述	予備校	代々木ゼミナール	5,200円
		8/16(日)	九大入試プレ	記述・論述	予備校		
9月	11/14(土)・15(日)	第2回 東大入試実戦模試	記述・論述	予備校	駿台予備校	5,200円	
	11/22(日)	第2回 京大入試実戦模試	記述・論述	予備校			
	11/1(日)	北大入試実戦模試	記述・論述	予備校			
	11/22(日)	東北大入試実戦模試	記述・論述	予備校			
	10/25(日)	東工大入試実戦模試	記述・論述	予備校			
	10/25(日)	一橋大入試実戦模試	記述・論述	予備校			
	10/25(日)	名大入試実戦模試	記述・論述	予備校			
	11/3(祝・火)	阪大入試実戦模試	記述・論述	予備校			
	11/15(日)	神戸大入試実戦模試	記述・論述	予備校			
	11/1(日)	広島大入試実戦模試	記述・論述	予備校			
	10/25(日)	九大入試実戦模試	記述・論述	予備校			
	11/3(火・祝)	北大入試オープン	記述・論述	予備校	河合塾	5,560円	
	11/3(火・祝)	第2回 東北大入試オープン	記述・論述	予備校			
	11/7(土)・8(日)	第2回 東大即応オープン	記述・論述	予備校			
	11/1(日)	東工大入試オープン	記述・論述	予備校			
	11/1(日)	一橋大入試オープン	記述・論述	予備校			
	11/15(日)	第2回 名大入試オープン	記述・論述	予備校			
	11/3(火・祝)	第2回 京大即応オープン	記述・論述	予備校			
	11/15(日)	阪大即応オープン	記述・論述	予備校			
	11/8(日)	神大入試オープン	記述・論述	予備校			
	11/8(日)	広大入試オープン	記述・論述	予備校			
	11/8(日)	九大入試オープン	記述・論述	予備校			
	11/22(日)	早大・慶大オープン	マーク・記述・論述	予備校			
	11/21(土)・22(日)	第2回 東大入試プレ	記述・論述	予備校	代々木ゼミナール	5,200円	
	11/1(日)	第2回 京大入試プレ	記述・論述	予備校			
	11/3(火・祝)	東北大入試プレ	記述・論述	予備校			
11/22(日)	北大入試プレ	記述・論述	予備校				
11/3(火・祝)	名大入試プレ	記述・論述	予備校				
11/23(月・祝)	阪大入試プレ	記述・論述	予備校				
10月	11/29(日)	慶大入試プレ	記述・論述	予備校			
	12/6(日)	早大入試プレ	記述・論述	予備校			

<結局、どの模試を受験すればいいの？>

このように大学受験の模擬試験といっても、各予備校によって、年間を通して、沢山の模試が行われています。これだけ多くの模試がある中で一体、どの模試を受験すればいいのでしょうか？

前述しましたように、弥栄高校では、受験母集団が最大規模の進研模試に対応したFINEシステムを導入しており、全学年で校内実施の進研模試を受験するようになっています。この進研模試を受験すると、その成績データは蓄積され、進路担当者により、あらゆる角度から分析されて、皆さんにフィードバックされ、担任による個別面談・三者面談・志望校検討など、きめ細かな進学指導が受けられます。ですから、「進研模試」を毎回、受験することをお勧めします。

更に、難関大学進学を希望している生徒は、進研模試に加えて、他の大手予備校が主催する「大学冠模試」を受験して下さい。なぜならば、大学によって入試問題の出題傾向・科目・設問形式・難易度・時間・配点などが異なるからです。また、本番の「センター試験」「個別学力試験」の会場は、弥栄高校ではなく、各大学など実施されますので、緊張感を体感するためにも、余力があれば、大手予備校の主催する模試を受験すると良いと思います。

<大学受験にかかるお金の話>

大学入試では、大学進学決定方法は、指定校推薦・一般推薦・A0入試・センター利用入試・一般入試などいろいろな方法があります。私立大学においては、異なる日程の入試で最低でも3回は受験チャンスがあります。進学したい大学ならば、すべての機会を利用して受験するべきでしょう。ところが、大学入試では受験料がかかります。同じ大学・学部・学科の入試であっても、日程が異なると、受験ごとに約3万円の検定料がかかります。3回受験すると、約9万円の受験料がかかることとなります。一般的に受験生は、志望校が決まっても、自分の学力に応じて、「チャレンジ校」・「合格圏内校」・「合格安全校」の複数の大学を受験します。このようなことから、一般的に、受験生は、大学受験で受験料だけで、平均で約24万円かかると言われています。

前述の表で示したように、模擬試験の受験料は、大手予備校では、高くても6千円です。進研模試では、3,190円です。模擬試験を10回受験しても、受験料は、入試本番の受験料の1回～2回分の料金です。

受験本番までに、定期的に模擬試験を受けていき、弥栄高校が導入しているFINEシステムで、成績データを蓄積し、担任との面談で、正確な分析データにより、出願大学を決定し、「合格安全校」（滑り止め大学）の受験回数を減らすことによって、受験にかかる費用（受験料・入学手続き費用）を削減することができます。

<3年次生の模試受験のまとめ>

1. 「進研模試」、「ベネッセ・駿台模試」を毎月、必ず受験する。
(試験慣れする。模試を目標に勉強計画を立てる。FINEシステムで分析できる。)
↓
2. 難関大学進学希望者は、「大学冠模試」を必ず受験する。
(入試問題の出題形式・傾向とハイレベルな学力集団の中での自分の正確な位置を知る)
↓
3. 余力があれば、他の予備校の模試を受験する。
(高校以外の会場で入試本番さながらの緊張感を体感する)

<受験の豆知識>

受験生は、一般的に「チャレンジ校」・「合格圏内校」・「合格安全校」の複数の大学を受験しますが、作戦的に

「**チャレンジ校**」……**3校**

「**合格圏内校**」……**2校**

「**合格安全校**」……**1校**

を受験すると受験費用も抑えられつつ、良い結果も期待できると言われています。

1・2年次生の模擬試験の受験について

これまでは、3年次生の模擬試験について説明してきました。ここからは、1・2年次の模擬試験について説明していきます。進路通信（第3号）でも解説しましたが、弥栄高校では、1・2年次生に対して、次のように、「校内進研模試」を実施しています。この「進研模試」は、既に学科費として受験料を徴収していますので、全員必ず受験します。

年次	4月	10月	1月	回数
1年次	スタディサポート	スタディサポート	進研記述模試	3回
2年次	スタディサポート	進研記述模試	進研記述模試	3回

「スタディサポート」とは、基本的なレベルの問題をまんべんなく出題する学力の確認テストのようなものです。この「スタディサポート」を受験することによって、個人の大まかな学力と年次別・学科別の集団の学力が分析できます。また、起床時間・就寝時間などの生活状況や、自宅学習時間・勉強開始時間などの学習状況調査も含まれており、生活・学習状況の調査に使用しています。更に、どのような大学に進学したいのか？という進学希望調査としても使用しています。一方、「進研記述模試」は、学習した分野の実力テストのような試験で、全国での自分の偏差値などが図れます。「進研記述模試」は、全国の多くの現役生が受験して、母集団が約50万人の模擬試験です。出題される問題の難易度は、易しい大学から中堅国公立大学で出題されるレベルの問題が多いです。

では、校内で実施される「進研模試」以外に、どのような模擬試験があるのでしょうか？大手予備校では、予備校生・高校3年生対象の模擬試験を実施していますが、高校1・2年次生に対しても、年間を通して、多くの模試を実施しています。

<大手予備校主催の高2生対象 模試一覧・2015年度版>

受付開始月	実施日	模試名	出題形式	会場	主催予備校	受験料	申込み	チェック欄
4月	6/7(日)	第1回 高2駿台全国模試 (ハイレベル)	記述式	予備校	駿台予備校	4,600円	各自	
	5/24(日)	第1回 全統高2模試	記述式	予備校	河合塾	4,540円	各自	
	5/10(日)	第1回 高2トップレベル模試	記述式	予備校	代々木ゼミナール	4,700円	各自	
	6/14(日)	第1回 高2スタンダードレベル模試	記述式	予備校	代々木ゼミナール	4,700円	各自	
6月	8/23(日)	第2回 全統高2模試	記述式	予備校	河合塾	4,540円	各自	
8月	10/11(日)	第2回 高2駿台全国模試 (ハイレベル)	記述式	予備校	駿台予備校	4,600円	各自	
	10/25(日)	第2回 高2スタンダードレベル模試	記述式	予備校	代々木ゼミナール	4,700円	各自	
9月	11/1(日)	第3回 全統高2模試	記述式	予備校	河合塾	4,540円	各自	
	11月	河合塾・Z会共催高2プレステージ	記述式	予備校	Z会・河合塾	4,840円	各自	
	11/15(日)	第2回 高2トップレベル模試	記述式	予備校	代々木ゼミナール	4,700円	各自	
10月	12/16(水)	第1回 高2駿台全国マーク模試	マーク式	予備校	駿台予備校	4,600円	各自	
11月	1/31(日)	第3回 高2スタンダードレベル模試	記述式	予備校	代々木ゼミナール	4,700円	各自	
12月	1/31(日)	全統高2記述模試	記述式	予備校	河合塾	4,540円	各自	
	2/7(日)	全統マーク高2模試	マーク式	予備校	河合塾	5,680円	各自	
1月	3/13(日)	第2回 高2駿台全国マーク模試	マーク式	予備校	駿台予備校	4,600円	各自	

<大手予備校主催の高1生対象 模試一覧・2015年度版>

受付開始月	実施日	模試名	出題形式	会場	主催予備校	受験料	申込み	チェック欄
4月	6/7(日)	第1回 高1駿台全国模試 (ハイレベル)	記述式	予備校	駿台予備校	4,600円	各自	
	5/24(日)	第1回 全統高1模試	記述式	予備校	河合塾	4,540円	各自	
	5/10(日)	第1回 高1トップレベル模試	記述式	予備校	代々木ゼミナール	4,700円	各自	
	6/14(日)	第1回 高1スタンダードレベル模試	記述式	予備校	代々木ゼミナール	4,700円	各自	
6月	8/23(日)	第2回 全統高1模試	記述式	予備校	河合塾	4,540円	各自	
8月	10/25(日)	第2回 高1スタンダードレベル模試	記述式	予備校	代々木ゼミナール	4,700円	各自	
9月	10/25(日)	第2回 高1駿台全国模試 (ハイレベル)	記述式	予備校	駿台予備校	4,600円	各自	
	11/1(日)	第3回 全統高1模試	記述式	予備校	河合塾	4,540円	各自	
	11月	河合塾・Z会共催高1プレステージ	記述式	予備校	Z会・河合塾	4,840円	各自	
	11/15(日)	第2回 高1トップレベル模試	記述式	予備校	代々木ゼミナール	4,700円	各自	
11月	1/31(日)	第3回 高1スタンダードレベル模試	記述式	予備校	代々木ゼミナール	4,700円	各自	
12月	1/31(日)	第3回 高1駿台全国模試 (ハイレベル)	記述式	予備校	駿台予備校	4,600円	各自	
	1/31(日)	全統高1記述模試	記述式	予備校	河合塾	4,540円	各自	
1月	3/13(日)	高1駿台全国マーク模試	マーク式	予備校	駿台予備校	4,600円	各自	

更に、高3生と同様に、高1生・高2生に対しても、年間を通して、「大学冠模試」を実施しています。

<大手予備校主催の1・2年次対象 大学冠模試 ・ 2015年度版>

受付開始月	実施日	模試名	出題形式	会場	主催予備校	受験料	申込み	チェック欄
4月	7/19(日)	第1回 高1東大・京大模試	記述式	予備校	代々木ゼミナール	5,200円	各自	
	7/19(日)	第1回 高2東大・京大模試	記述式	予備校		5,200円	各自	
12月	1/31(日)	高2東大レベル模試 (ハイレベル)	記述式	予備校	駿台予備校	4,600円	各自	
	2/7(日)	第2回 高1東大・京大模試	記述式	予備校	代々木ゼミナール	5,200円	各自	
	2/7(日)	第2回 高2東大・京大模試	記述式	予備校		5,200円	各自	

では、弥栄高校の1・2年次の皆さんは、校内実施の「進研模試」以外に、大手予備校主催の「模擬試験」を受験した方が良いでしょうか？

その答えは、1・2年次生は、基本的には、「高校の定期試験」を中心に学習を進めてください。1・2年次生は、勉強の基礎を修得する時期です。ですから、授業を最優先に考え、「予習→授業→復習」のサイクルを確立して、「定期試験」の準備をすることで、学習スタイルを築いてください。更に、学習した全範囲から出題される「進研模試」を実力試験として考えて、全国規模の母集団の中での、自分の学力を図る物差しとして使用してください。

しかし、前述したとおり、「進研模試」の出題問題の難易度レベルは、易しい大学から中堅国公立大学で出題されるレベルの問題が多いです。受験する母集団も多岐にわたる学力層です。ですから、東京大学・京都大学・東京工業大学・一橋大学などの超難関大学へ進学を希望している生徒にとっては、難易度が易しく、ハイレベルな学力を図る物差しとしては、不十分な部分もあります。したがって、超難関大学への進学を希望している生徒は、是非、駿台の「ハイレベル模試」、代ゼミの「トップレベル模試」、「大学冠模試」を受験して、ハイレベルな入試問題を体感し、ハイレベルな学力層の中での、自分の学力位置を知っておく必要があります。また、特に、弥栄高校理数科の6割近くが、国際科でも2割～3割の生徒が、毎年、国公立大学への進学を希望しています。また早稲田大学・慶應義塾大学への進学希望者も増えてきています。このように、国公立大学や早稲田・慶應大学への進学希望者にとっては、1年次1回、2年次2回の「進研記述模試」では、模試の回数が少ないというのが実情です。ですから、国公立大学・早慶への進学を希望している生徒は、是非とも、河合の「全統模試」や「スタンダード模試」を受験することをお勧めします。

<1・2年次生の模試受験のまとめ>

1. まずは授業が最優先！！ 「予習→授業→復習」のサイクルを確立し、定期試験に向けて十分に準備せよ！
↓
2. 「校内進研模試」を実力試験と認識し、苦手教科・苦手分野や全国規模での自分の学力位置を把握せよ。
↓
3. 国公立大学・早稲田・慶應進学希望者は、河合の「全統模試」、代々木の「スタンダード模試」を実力試験として受験し、全国規模の母集団の中での自分の位置を確認せよ。
↓
4. 超難関大学進学希望者は、「駿台ハイレベル模試」「河合トップレベル模試」「大学冠模試」でハイレベルな入試問題を体感し、学力トップ層の中での自分の位置を確認せよ。